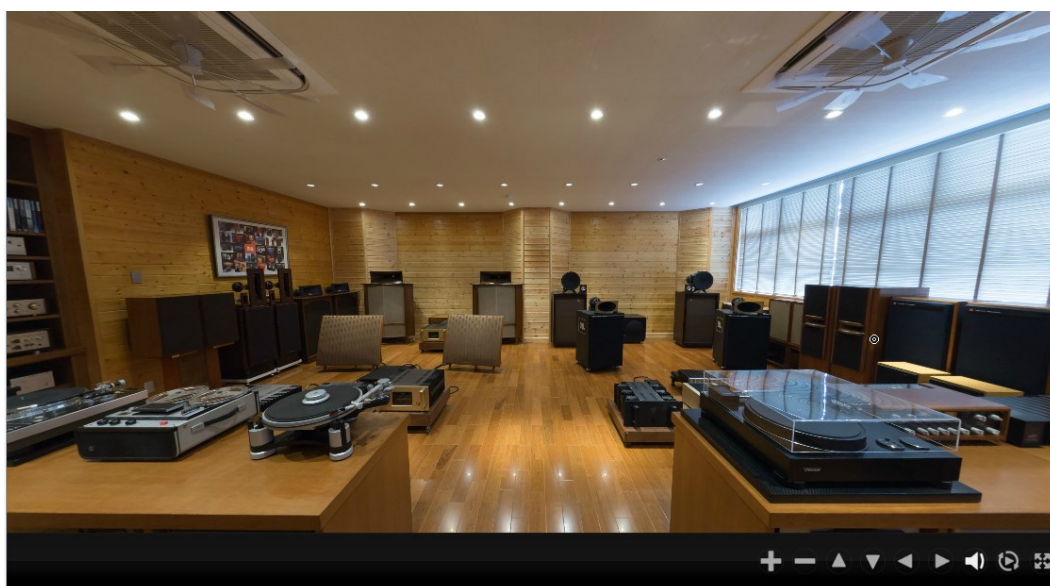


連載 第25回 『試聴室探訪記』
～谷口とものり、魅惑のパノラマ写真の世界～
夢のオーディオ名機コレクション
“ing ヴィンテージオーディオ博物館” 訪問
フォトグラファー 谷口 とものり・編集委員 森 芳久



今回は前回に続き、竹澤 裕信氏のもう一つの夢、往年のオーディオの名機を完動品として一同に集め、音を聴きまた眺めて触れることができる博物館、その名も“ing ヴィンテージオーディオ博物館”をご紹介します。

前回皆様にこの博物館について少し予告をさせていただきましたが、つい先日、竹澤氏から完成のご連絡が入り、早速取材をさせていただくことになりました。当然ながら、一般公開はこのJAS ジャーナルが最初ということになります。

「私がオーディオに目覚めてから今日まで、実際に手にして聴いたオーディオ機器を、完動品として保存した試聴できるような場所を作りたかったのです。ここは私のオーディオ自分史とも言えるでしょう」

少年のように目を輝かせて語る竹澤氏の言葉どおり、ここにもまた氏の男のロマンと歴史がぎっしりと詰まっています。

ここに並べられたオーディオの名機たちについては、それぞれ解説をしたら面白いとは思いましたが、それでは一冊の本になってしまいそうなので、今回は敢えて機種名や型番を伏せることにいたしました。どうぞ皆様ご自身で「宝探し」感覚で一点一点を眺め、メーカー名、機種名、型番などを探し当ててみられてはいかがでしょうか。

また今回音楽は、新進気鋭の作曲家 平本 正宏氏(Tekna TOKYO)のご好意により、彼の最新譜

アルバム” CHAMBER MUSIC ONE”の中から“Moment”を使わせていただきました。
(<http://teknatokyo.com/>)

ヴィンテージオーディオ製品群と最新音楽との面白い融和もお楽しみいただければ幸いです。それでは、今回も谷口 ともりのさんの素晴らしいパノラマ映像から要所をズームアップし”オーディオの宝物“の発見をお楽しみください。

ing ヴィンテージオーディオ博物館補記

森 芳久

今回もまた株式会社 ing コーポレーションの竹澤社長にご協力をいただき、同社に新しく出来上がった“ing ヴィンテージオーディオ博物館”をご紹介いたしました。ここは前回ご紹介しました“ing コーポレーション試聴室”と同じ同社の鴻巣本社ビルと同じ敷地内の別棟に敷設されています。ここは新事務所建設で空いた旧事務所建物をそっくり博物館にリフォームされたとのこと。二階のフロー全体が博物館となっており、前室、そして二つの展示・リスニングルームから成っています。



前室でインタビューに答える竹澤氏と演奏に使うCDの説明をする筆者

応接用の前室にはオーディオ小物を展示するショーケースが設えられ、来訪者の期待を盛り上げています。そこから奥の約 60 平米の左右二つに分けられた展示・リスニングルームに誘われます。竹澤氏がこれまでに集められ聴いてこられた名機が並べられ、特製キャスター付きベースで自在にセッティングして聴くことができるように配慮されています。書棚には「ステレオサウンド」誌の創刊号から最新号まで並べられ、氏のオーディオの歴史を語っています。



ホームシアターにもなるリスニングルームの前方

さらに、左には独立した約 62 平米の縦長の展示・リスニングルームがあり、部屋の前後に異なったオーディオ機器がセットされ、二つのリスニングルームとして機能するように配慮されています。その一方には天井にスクリーンが仕込まれ、ソニーの 4K プロジェクターによりハイレゾの映像も楽しめます。



リスニングルーム後方のオーディオ機器

今回はこのクラシックな部屋で試聴ソフトはアナログではなく、敢えて若手作曲家・演奏家によるインディーズ・レーベルの新譜 CD「CHAMBER MUSIC ONE」を聴きました。往年の名機が奏でる新録音ディスクは、新しさの中に優しさと懐かしさの見事な調和でこのクラシックな博物館一杯に響かせてくれました。

この展示・リスニングルームの設計、施行にあたっては、竹澤社長自らとその右腕ともいえる同社の諏佐 憲二取締役が関わってこられました。諏佐氏は木工また建築技術者で一流の家具職人でもあります。竹澤氏の試聴室の施行をしたことから、その技術と感性を高く評価され、諏佐氏もまた竹澤氏の情熱と人柄に魅せられ同社で働くことになったとのこと。こうして竹澤氏の昔からの夢、自分が感動して歩んできたオーディオの道程を具現化されたのです。同じ趣味を持ち共感し合えたお二人の作品でもあるこの博物館、そこに素晴らしい響き（ハーモニー）が生まれたのは当然のことなのでしょう。

パノラマ画像の操作説明

- パノラマ写真は、[ここ](#)か、はじめのページの**画像**をクリックしてご覧ください。
(ローディングに若干時間がかかる場合があります。)
- マウス操作で、画面を上下・左右 360 度、自在に回転してご覧いただけます。
- 画面下にある操作ボタンで次の操作ができます。
 - + 画面のズームイン
 - 画面のズームアウト
 - ← 画面の左移動
 - 画面の右移動
 - ↑ 画面の上方向への移動
 - ↓ 画面の下方向への移動